

論文

進学予備課程で学ぶ日本語学習者の
英語語彙サイズに関する考察：
テストの開発と語彙サイズの測定

辻 本 桜 子*

要旨

現在、日本語教育機関の中には、大学、大学院等、国内の高等教育機関への進学を希望する留学生を対象に、英語教育を実施している機関が多数ある。本研究では、そのような日本語を学びつつ英語を並行して学ぶ日本語学習者の英語語彙力を明らかにするため、Nation (2010) の VST (bilingual Japanese version) を利用した予備調査を経て、「日本語学習者のための英語語彙サイズテスト」を開発した。そして、開発したテストを 287 名の日本語学習者に対して実施し、英語語彙サイズの測定を試みた。その結果、日本語学習者全体の英語語彙サイズは平均 1,910 語であることが分かった。また、漢字圏と非漢字圏の学習者別に見ると、漢字圏学習者の平均語彙サイズは 2,370 語で、非漢字圏学習者は平均 1,610 語であることが分かり、漢字圏学習者の方が 760 語も上回っていることが分かった。しかし、語彙サイズ上位群と下位群の差異に目を向けると、語彙サイズ最大の学習者は非漢字圏学習者であり、その他にも上位群を占める非漢字圏学習者の割合が高いことが分かった。一方で下位群はほぼ非漢字圏学習者が占めており、上下のレベル差が大きいことが分かった。また、全体の平均語彙数を学習者が目標とすべき日本人大学生と比較したところ、日本人大学生全体の平均語彙サイズは約 3,715 語 (word family) で (McLean, Hogg & Kramer 2014)、1 年生に関しては平均 3,978 語であり (McLean, Hogg & Rush 2014)、日本語学習者の平均語彙数 1,910 語はそれには到底及ばないことが分かった。進学を目指すためには、語彙力の強化が必要である。

本研究の結果を持って、今後の進学予備課程で学ぶ日本語学習者の英語指導と語彙教材の開発に活かしていきたい。

キーワード

英語語彙サイズテスト 英語語彙サイズ測定 日本語学習者 漢字圏学習者
非漢字圏学習者

* 立命館大学日本語教育センター授業担当講師

目 次

第 1 章	はじめに
第 2 章	日本語学習者のための英語語彙サイズテストの開発
	第 1 節 テスト開発のための予備調査
	第 2 節 予備調査期間と対象者
	第 3 節 予備調査の結果
第 3 章	日本語学習者の英語語彙サイズの測定
第 4 章	日本語学習者の英語語彙サイズの測定結果
第 5 章	考察
	第 1 節 漢字圏学習者と非漢字圏学習者の語彙サイズの差異
	第 2 節 日本語能力試験取得レベルと語彙サイズの関係
	第 3 節 語彙サイズ上位群と下位群の差異
	第 4 節 日本語学習者と日本人大学生の語彙サイズの差異
	第 5 節 日本語学習者の英文理解時の目標語彙サイズ
第 6 章	まとめと今後の課題

第 1 章 はじめに

現在、日本語教育機関の中には、大学、大学院等、日本国内の高等教育機関への進学を希望する留学生を対象に英語教育も実施している機関が多数ある。そのような機関に在籍する学習者は、日本語と並行して進学時に必要な入試科目や進学後を見据え、英語や数学、物理、化学などの科目の学習も行っている¹⁾。彼らのうちほとんどが母国で既に英語の学習経験があるが、来日後、ESL (English as a Second Language) でもない、日本というまた新たな EFL (English as a Foreign Language) の環境で英語を学ぶことになる。そして、通常、英語のネイティブ講師でもなく、母語を同じくする教師でもない、日本人の英語教師から英語教育を受ける。教材については進学を目指す日本人の中学・高校生用のものが使用されるか、少しレベルが高い学習者には洋書を使用しながらの指導がされている。そのため日本人学習者用の教材では留学生は時折、問題文や解説文中の日本語の問題に直面している。洋書の教材の方は日本の大学進用に作成されたものではないため、英語レベルや問題の形式が国内の留学生の英語入試事情に合っていない、等の問題がある。学習者は日本人とは母語が異なるだけでなく、来日前の英語学習のバックグラウンドも多様であり、彼らに対する英語教育は、日本人の英語学習者を対象としたものとは大きく異なり、専用の教材も必要ではないかと考えられる。しかしこれまでのところ、このような日本語を学びつつ、英語学習を並行して行う学習者に対する英語教授法の研究や専用の教材の開発はなされていない。また、そもそも指導や教材開発の前提となる英語力を測定するテストも専用のものがなく、日本人学習者用のテストが代用されることが多い。そこで本研究は、日本語教育機関の進学予備課程で学ぶ留学生のための英語指導や教材開発に

向けた基礎研究として、日本語学習者専用の英語語彙サイズテストを開発し、語彙力を測定することを目的とする。

第2章 日本語学習者のための英語語彙サイズテストの開発

前章で述べた日本語学習者専用の英語語彙サイズテストの開発にあたり、Paul Nation の Vocabulary Size Test (以下 VST) を参考にすることにした。日本では英語語彙サイズテストとして、望月 (1998) が開発したいわゆる「望月テスト」がよく利用されているが、望月テストは「日本人英語学習者のための語彙サイズテスト」として開発されたものであり、テスト語は園田 (1996) の「北海道大学英語基本語彙表」の改訂版に基づく。一方、Nation の VST は英語母語話者と第二言語としての英語学習者のための、受容語彙の語彙サイズテストとして開発されたもので (Nation 2012), テスト語は BNC (British National Corpus) の高頻度語リスト (word-family 換算) に基づいている (Nation 2006, p.62)。本研究で対象とする学習者は留学生であり日本人ではないため、「日本人英語学習者のため」と限定された望月テストではなく、「英語母語話者と第二言語としての英語学習者のため」に開発され、世界中で利用されている VST を使用することにした。VST にはオリジナルの英語版だけでなく、ホームページ上で公開されているものだけでも日本語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語等、8ヶ国語の bilingual version がある²⁾。このうち、本研究では学習者の共通語である日本語版, bilingual Japanese version (Nation 2010) を使用することにした。なぜなら、対象とする日本語学習者は日本国内での進学を目指し、教室で共に学習し、日本語を共通語とするからである。多国籍の学生が在学する日本語教育機関の進学予備課程では、日本語科目のみならず、進学に必要な数学、物理、化学、総合科目等の科目が設置されている場合、通常、日本語で書かれた教科書を用い、日本語で授業が行われる。進学には専門科目も理解できる相応の日本語力が必要であり、これは進学時と進学後を見据えてのことである。英語もまた同様で、オールイングリッシュで授業を受ける機会よりは、日本人教師より日本語を媒介語とした授業を受ける機会が多い。そのため、英語の語彙サイズテストも学習者の共通語である日本語版, bilingual Japanese version (Nation 2010) を用いることにした。ただし、このテストは本来、日本語母語話者のために作成されたものであり、学習者は日本語もまだ習得過程にあるため記述されている日本語を全て正確に理解できるとは限らない。そこで、本研究では bilingual Japanese version に基づいた予備調査を行った後、日本語学習者のための英語語彙サイズテストを新たに開発することにした。

第3節 予備調査の結果

予備調査の結果、選択肢の日本語 200 語（問題数 50 問、選択肢各 4 語）のうち、1 名でも意味が「分からない」と○をつけた語は 91 語あった。これは全体の 45.5% を占めるものであり、やはり VST を日本語学習者にそのまま実施するには、問題があることが分かった。次にどのような語を学習者が「分からない」と回答したのか、不明語の上位 25 語（129 名中 11 名（全体の 8.5%）以上の学習者が「分からない」と答えた語）について、語彙の難易度レベルを国際交流基金（2002）の『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』を参照し、分類を試みた。（出題基準は 2010 年に改定された現行試験では非公開であるため、旧試験の基準を参照することにした。）分類に際しては、選択肢のうち、動詞は辞書形に直し（例：「ふさがれた」→「ふさぐ」（2 級））、2 つの品詞からなる語句は 1 語ずつに分け（例：「ごしごし磨く」→「ごしごし」（級外）「磨く」（2 級））、複合語は単語に分け（例：「矢筒」→「矢」（1 級）「筒」（1 級））、分類を行った。そして、出題基準に掲載がないものは「級外」とすることにした。表 2 は VST (bilingual Japanese version) の

表 2 選択肢日本語の不明語、選択者数、割合、日本語レベル

不明順	問題	選択肢	選択肢日本語	選択者数	割合	旧日本語能力試験出題基準
1	2-3	d	うろたえた	52 名	40.3%	級外
2	5-3	a	ミミズ	36 名	27.9%	級外
3	3-7	c	金の縁取りがされた	33 名	25.6%	金（2 級）縁（2 級）
3	4-7	d	コオロギ	33 名	25.6%	級外
5	1-9	a	かかと	32 名	24.8%	級外
6	4-7	b	クラッカー	29 名	22.5%	級外
7	5-7	a	ミニチュア	28 名	21.7%	級外
8	3-7	a	ふさがれた	26 名	20.2%	ふさぐ（2 級）
8	4-4	c	リス	26 名	20.2%	級外
8	5-10	c	ラクダ	26 名	20.2%	級外
11	5-5	d	堆肥	24 名	18.6%	級外
12	3-4	c	ごしごし磨く	23 名	17.8%	ごしごし（級外）磨く（2 級）
12	4-4	a	襟巻き	23 名	17.8%	襟（1 級）巻く（2 級）
12	4-7	c	かたい襟	23 名	17.8%	かたい（2 級）襟（1 級）
15	3-3 4-8	d d	拳銃	22 名	17.1%	級外
15	3-8	d	ちらりと見た	22 名	17.1%	ちらりと（級外）見る（4 級）
15	5-6	c	マグカップ	22 名	17.1%	級外
18	4-5	a	矢筒	18 名	14.0%	矢（1 級）筒（1 級）
18	5-5	c	コンクリート	18 名	14.0%	2 級
20	2-4	d	おり	17 名	13.2%	1 級
21	3-4	a	ひっかく	14 名	10.9%	1 級
22	3-8	b	ぶらぶら歩いた	13 名	10.1%	ぶらぶら（1 級）歩く（4 級）
23	3-3	c	ベレー帽	12 名	9.3%	級外
23	4-6	c	詰め物	12 名	9.3%	詰める（2 級）物（2 級）
25	3-7	d	舗装された	11 名	8.5%	舗装する（1 級）

選択肢の中で、学習者の不明語上位 25 語までの日本語リストと旧日本語能力試験の出題基準である。表によると、学習者の不明語には 1 級、2 級語彙も含まれるが、25 語中ほぼ過半数に当たる 12 語は級外の語彙であることが分かった。

そこで日本語学習者のための語彙サイズテストの選択肢には、表 2 に示した不明語の上位 25 語について、注として分かりやすく言い換えた説明語 (文) を付すことにした。

次表 3 に選択肢日本語に付した各語の注釈を示す。

表 3 選択肢日本語の注釈

問題	選択肢	選択肢日本語	注釈
2-3	d	うろたえた	突然のことに驚いて、慌てる。
5-3	a	ミミズ	土の中に住む細長い虫
3-7	c	金の縁取りがされた	金の縁取りをする：物の周りを金色にする。
4-7	d	コオロギ	秋によくいる黒い虫。きれいな声で鳴く。
1-9	a	かかと	体の一部。足の後ろの部分。指の反対にある。
4-7	b	クラッカー	パーティの時に、大きい音を出すための物
5-7	a	ミニチュア	何か大きい物を小さくした物
3-7	a	ふさがれた	ふさぐ：穴や開いている所を何か物を使って見えないようにする。
4-4	c	リス	木の上に住む小さい動物。前の歯が大きい。
5-10	c	ラクダ	砂漠 (暑くて雨が少ない所) に住む動物
5-5	d	堆肥 (たいひ)	植物がよく育つように田や畑に入れる物
3-4	c	ごしごし磨く	ごしごし：強くこする様子 (汚れた物を洗う時、そうじの時に使われる言葉)
4-4	a	襟 (えり) 巻き	マフラーのこと。寒くないように、またはおしゃれのために首に巻くもの。
4-7	c	かたい襟 (えり)	かたい：「やわらかい」の反対 襟：服の首の回りの部分
3-3	d	拳銃	小さいピストル (警察官が持っている武器)
4-8	d		
3-8	d	ちらりと見た	ちらりと：とても短い時間
5-6	c	マグカップ	持つところがある大きくて重いコップ
4-5	a	矢筒	矢 (武器の名前) を入れる、丸くて細長い入れ物
5-5	c	コンクリート	砂、セメントなどと水を混ぜて固くしたもの。工事の時に使う。
2-4	d	おり	危ない動物や、警察に捕まえられた犯人が、逃げないように入れられる入れ物や小さい部屋
3-4	a	ひっかく	爪や先のとがったもので強く搔く。
3-8	b	ぶらぶら歩いた	ぶらぶら：目的なく、のんびり歩く様子
3-3	c	ベレー帽	軟らかく、丸くて平らな帽子
4-6	c	詰め物	虫歯などの穴に詰めてふさぐ物
3-7	d	舗装 (ほそう) された	舗装する：道路の表面をセメントなどできれいに固める。

表3に示した注釈考案時には、まず『広辞苑』と2点のウェブサイト上の辞書³⁾で定義を確認した後、国際交流基金(2002)の旧日本語能力試験の出題基準に照らし合わせ、2級までの語彙を使用して行うようにした。また、必要と判断した漢字には読み仮名もつけることにした。その後、日本語教師2名(大学日本語講師と日本語学校日本語講師、共に進学クラスでの指導経験有り、日本語教育歴10年以上)に適切かどうか、テスト対象レベルの学習者(日本での進学を目指す、日本語能力試験N2を目指す程度の日本語能力の者)が理解できるものであるか、チェックを依頼し、加筆、修正を行った。このようにして、学習者が「分からない」と答えた語に注釈を付け、VST (bilingual Japanese version) を改良し、「日本語学習者のための英語語彙サイズテスト」を開発した。

開発したテストの問題例を下表4に示し、更に本稿の最後に資料としてテスト全問を掲載する。

表4 日本語学習者のための英語語彙サイズテスト問題例

	問題例
Second 1000	2-3. upset : I am upset . a. 疲れた b. 有名な c. 金持ちの d. うろたえた* *突然のことに驚いて、 ^{あわ} 慌てる。
Fifth 1000	5-3. nun : We saw a nun . a. ミミズ* b. 大事故 c. 修道女 d. 空中の謎の光 *土の中に住む細長い虫

第3章 日本語学習者の英語語彙サイズの測定

前述のようにして開発したテストを用い、本調査として日本語学習者の英語語彙サイズを測定した。テストの実施時期は2015年4月で、日本語教育機関の進学予備課程に在籍する学習者287名(男性199名、女性88名:漢字圏学習者112名、非漢字圏学習者175名)を対象とした。対象者の日本語能力は、N1合格者30名、N2、N3、N4、N5合格者、順に56名、17名、2名、29名であった。日本語学習歴は平均2年、英語学習歴については平均8年2ヶ月であった。非漢字圏学習者の国籍内訳は、ベトナム人163名、韓国人5名、インドネシア人4名、ネパール、ミャンマー、モンゴル人各1名であった。

テスト時間は前回実施時の様子から、50問で約20分間とした。ほぼ全員の学習者が20分以内に解答を終えたが、20分を超えた数名の者には、時間を気にせず最後まで解くよう指示をした。全員30分以内には解答を終えた。また、前回同様テストに加え、属性シートの記入時間を約5分間設けた。

第 4 章 日本語学習者の英語語彙サイズの測定結果

語彙サイズの算出は、Nation (2012) が述べる方法、「1000 語単位の頻度レベル (注: First1000, Second1000 等) は考慮に入れない」「正解 1 問につき 100 を掛けること」にならって行った。その結果、表 5 に示したように日本語学習者全体の英語語彙サイズは平均 1,910 語であることが分かった ($\alpha = .90$)。また、漢字圏と非漢字圏の学習者別に見ると、漢字圏学習者の平均語彙サイズは 2,370 語で、非漢字圏学習者は平均 1,610 語であった。漢字圏学習者の方が非漢字圏学習者より 760 語も上回っていることが分かった。

表 5 日本語学習者の英語語彙サイズテスト結果

	受験者数	英語語彙サイズ (平均)	クロンバックの α ⁴⁾
全体	287 名	1,910 語	.90
漢字圏学習者	112 名	2,370 語	.89
非漢字圏学習者	175 名	1,610 語	.88

第 5 章 考察

第 1 節 漢字圏学習者と非漢字圏学習者の語彙サイズの差異

それではなぜ、漢字圏学習者の方が非漢字圏学習者より平均語彙サイズが上回る結果になったのだろうか。表 6 に学習者の詳細な属性情報を示し、両者の比較を行ってみたい。

表 6 漢字圏学習者と非漢字圏学習者の属性情報

	漢字圏学習者	非漢字圏学習者
日本滞在歴	1 年 6 ヶ月	1 年 6 ヶ月
日本語学習歴	2 年 3 ヶ月	1 年 7 ヶ月
N1 合格者	27 名	3 名
N2 合格者	38 名	18 名
N3 合格者	4 名	13 名
N4 合格者		2 名
N5 合格者		29 名
英語学習歴 (来日前)	9 年 1 ヶ月	7 年 6 ヶ月
英語学習歴 (来日後)	(15 名) 8 ヶ月	(2 名) 1 年 1 ヶ月

まず、英語学習歴について、来日後の学習歴は調査時期が調査対象校への入学直後で、まだ授業開始前であったことから、漢字圏 15 名、非漢字圏 2 名の学習者 (3 月に卒業をせず、前年

度から引き続き在学をしている者、他校で英語授業の受講経験がある者)を除いて、ほとんどの者が日本での英語学習歴がなかった。来日前の学習歴については、表 6 から漢字圏学習者(9年1ヶ月)の方が非漢字圏学習者(7年6ヶ月)よりも長いことが分かる。複数の漢字圏学習者のインタビューによると、中国の特に都心部では、幼稚園や小学校の低学年より英語教育が始まるとの回答が得られ、その結果、非漢字圏学習者よりも来日前の英語学習歴が長くなっていると推測できる。

次に平均日本滞在歴については、漢字圏学習者、非漢字圏学習者は共に1年6ヶ月であったが、日本語学習歴については、漢字圏学習者は2年3ヶ月、非漢字圏学習者は1年7ヶ月であり、前者は来日前から学習を開始している者が多いことが分かる。非漢字圏学習者の方は、日本滞在歴(1年6ヶ月)と学習歴(1年7ヶ月)にほぼ差がないことから、来日後、学習を開始した者が多いと推測できる。その結果、学習歴の長さも関連があるのか、日本語能力試験 N1, N2 合格者も漢字圏学習者の方が N1, 27名, N2, 38名と非漢字圏学習者(それぞれ3名と18名)よりも多くなっている。

つまりまとめると、漢字圏学習者の方が非漢字圏学習者よりも、来日前の英語学習歴が長い。また日本語学習歴も長く、恐らくその結果、日本語能力試験の合格者も多い。そのため、進学を目指して英語等、他科目の学習にも余裕を持って取り組めるのではないか。このことから、英語指導時には日本語学習者のための英語指導と言っても、漢字圏と非漢字圏はできれば別に考える必要があり、非漢字圏学習者の方が漢字圏学習者より、注意して指導を行うことが必要だと考えられる。

第2節 日本語能力試験取得レベルと語彙サイズの関係

次に、日本語能力試験取得レベルと英語語彙サイズの関係について概観したい。表 7 により、漢字圏と非漢字圏学習者の N1 合格者の語彙サイズを比較すると、合格者の人数は少ないものの、非漢字圏学習者の平均語彙サイズは 3,500 語で、漢字圏学習者(2,750 語)より 750 語多いことが分かる。この 3 名の国籍と英語力を詳述すると、ベトナム人女性・TOEFL93 点、韓国人女性・TOEFL88 点、韓国人男性・TOEFL 受験経験なしであり、未受験者を除く 2 名は TOEFL でも高得点を取得していた。

N2, N3 合格者の平均語彙サイズも、両者を比較すると非漢字圏学習者の方が大きかった(漢字圏: N2 合格者 2,330 語, N3 合格者 1,700 語 / 非漢字圏: N2 合格者 2,460 語, N3 合格者 1,980 語)。つまり、非漢字圏学習者の上位層には、日本語も英語もできる優秀な学習者がいる。一方で漢字圏には見られなかった N4, N5 しか取得していない学習者がおり、日本語も英語も下位層が厚いと言える。N5 しか取得していない学習者の平均英語語彙サイズは 1,330 語で、これは日本語学習者全体の平均 1,910 語より 580 語も下回り、更に非漢字圏学習者の平均

1,610 語よりも 280 語下回るものである。表 7 を見る限り、非漢字圏学習者は日本語能力が下がるにつれ、英語語彙サイズが非常に小さくなっている。彼らもまた進学予備課程で学ぶ学習者であるが、上位層とは大差がある。日本語下位層の学習者にとっては、当然のことながら、英語学習ではなく、まずは日本語能力を伸ばすことが先決だろう。

表 7 日本語能力試験取得レベルと平均英語語彙サイズ

	漢字圏学習者	英語語彙サイズ	非漢字圏学習者	英語語彙サイズ
N1 合格者	27 名	2,750 語	3 名	3,500 語
N2 合格者	38 名	2,330 語	18 名	2,460 語
N3 合格者	4 名	1,700 語	13 名	1,980 語
N4 合格者			2 名	1,800 語
N5 合格者			29 名	1,330 語

第 3 節 語彙サイズ上位群と下位群の差異

次に英語語彙サイズ上位群と下位群の比較を行うことにする。上位 10 名について英語学習歴と英語力に関する詳細情報を記した表 8 を見ると、受験者 287 名のうち、語彙サイズ最大の学習者は 4,700 語のインドネシア人学習者であった。上位 10 名のうち 3 名が TOEIC の受験経験があり、780 点から 835 点を取得しており、大学進学前の英語学習者としては高得点であると言える。TOEFL については 3 名の者が受験経験があり、うち 2 名は 84 点と 92 点とこちらも高得点であった。前述の通り、平均語彙サイズは漢字圏学習者の方が非漢字圏学習者を大差で上回るという結果が得られたが、上位群を見ると、10 名中、漢字圏と非漢字圏で半数の 5 名ずつを占めており、上位群の中で健闘している非漢字圏学習者がいた。5 名の国籍の内訳は、語彙サイズ最大の者を含むインドネシア人 2 名をはじめ、ベトナム人 2 名、韓国人 1 名であり、上位群には語彙力が高い非漢字圏学習者がいることが分かった。

表 8 英語語彙サイズテスト上位 10 名の詳細情報

順位	英語語彙サイズ	国籍	英語学習歴 (来日前)	英語学習歴 (来日後)	TOEIC	TOEFL
1	4,700 語	インドネシア	12 年			
2	4,400 語	中国	8 年		780	
3	4,300 語	中国	12 年			
3	4,300 語	中国	6 年			
5	4,100 語	ベトナム	8 年		835	92
5	4,100 語	中国	10 年	1 年 6 ヶ月		54
5	4,100 語	中国	8 年			
8	3,900 語	インドネシア	12 年			
8	3,900 語	ベトナム	12 年			
8	3,900 語	韓国	13 年		795	84

一方、表は未作成であるが下位群に目を向けると、下位 10 名中 9 名が非漢字圏のベトナム人学習者で、漢字圏学習者は 1 名のみであった。また、下位 10 名の平均語彙サイズは 290 語と著しく小さいものであった。このように、非漢字圏学習者の語彙サイズは最大のインドネシア人学習者 (4,700 語) から最小のベトナム人学習者 (100 語) まで、差異が大きいことが分かった。

第 4 節 日本語学習者と日本人大学生の語彙サイズの差異

既に述べた通り、日本語学習者全体の英語語彙サイズは平均 1,910 語であった。それでは学習者が進学目標とする日本の高等教育機関で学ぶ日本人大学生の英語語彙サイズは何語ぐらいか。McLean, Hogg & Kramer (2014) は理系、文系専攻の 1 年生から 4 年生までの日本人大学生 3,449 名を対象に、Nation & Beglar (2007) の VST (monolingual) を使用し、調査を実施した。その結果、平均語彙サイズは約 3,715 語 (word family) であることが示されている。この McLean et al. (2014) では、学年別の結果については述べられていなかったが、同テストを使用し予備調査として実施された McLean, Hogg & Rush (2014) では、学年別の結果が示されており、それによると 1 年生は 3,978 語 (N = 709)、2 年生は 3,884 語 (N = 530)、3 年生は 3,990 語 (N = 40) であった。つまり、1 年生から 4 年生の平均語彙数 (約 3,715 語) を見ても、日本語学習者が入学後すぐに机を並べることになる大学 1 年生の平均語彙数 (3,978 語) と比べても、学習者の平均語彙数 1,910 語は少ないことが分かる。

第 5 節 日本語学習者の英文理解時の目標語彙サイズ

次に、英語学習者として、日本語学習者が英文理解時に必要な語彙サイズはどのくらいのか検討を試みる。Hu & Nation (2000) は、学習者が英文をそのまま適切に理解するには、英文の約 98% が既知語でなければならないと述べる。また、Nation (2006)、Nation & Beglar (2007) は「98%」の書き言葉に関する具体的な語彙サイズは、小説であれば約 9,000 語、新聞なら約 8,000 語であるとしている。(いずれも固有名詞を含む。) 表 9 は Nation & Beglar (2007) より、英文の 98% を理解するために必要な語数をまとめたものである。

表 9 英文の 98% を理解するために必要な語数 (固有名詞を含む)

Texts 原文	98% coverage 必要語数	Proper nouns 固有名詞
小説	9,000 語	1-2 %
新聞	8,000 語	5-6 %
子供向け映画	6,000 語	1.5 %
話し言葉	7,000 語	1.3 %

(Nation & Beglar, 2007, Table1, p.9 筆者訳)

一方で, Laufer & Ravenhorst-Kalovski (2010) は「95%」が既知語であればその英文は的確に理解できると述べるが, それでも 4,000 – 5,000 語の語彙サイズは必要であるという。これは Nation (2006) が述べる「98%」, 小説であれば約 9,000 語, 新聞なら約 8,000 語よりは少ないものであるが, いずれにしても日本語学習者の平均語彙サイズ 1,910 語では, 辞書等の補助なく英文を十分理解できるとは言えない。高等教育機関への進学を目指す学習者は, 理系の者もいれば文系の者もあり, 進学時, また進学後に読む英文のジャンルは多岐にわたる。しかし, いずれのジャンルであっても正確に理解するためには, 現在の語彙サイズでは到底足りないと言える。

第 6 章 まとめと今後の課題

本研究では, 日本語教育機関の進学予備課程に在籍する日本語学習者の英語語彙力を明らかにするため, Nation (2010) の VST (bilingual Japanese version) を利用し 129 名の学習者を対象とした予備調査を経て, 「日本語学習者のための英語語彙サイズテスト」を開発した。そして, 開発したテストを 287 名の学習者を対象に実施し, 英語語彙サイズの測定を試みた。その結果, 日本語学習者全体の英語語彙サイズは平均 1,910 語であることが分かった。また, 漢字圏と非漢字圏の学習者別に見ると, 漢字圏の平均語彙サイズは 2,370 語, 非漢字圏は 1,610 語と, 漢字圏学習者の方が 760 語も上回っていることが分かった。次に結果を元に漢字圏学習者と非漢字圏学習者の語彙サイズの差異, 日本語能力試験取得レベルと語彙サイズの関係, 語彙サイズ上位群と下位群の差異, 日本語学習者と日本人大学生の語彙サイズの差異, 日本語学習者の英文理解時の目標語彙サイズの 5 つの観点から考察を行った。特に学習者が目標とすべき日本人大学生の平均語彙サイズとの比較では, 日本人大学生の平均約 3,715 語 (word family), 1 年生の平均 3,978 語 (McLean et al. 2014) と比較して, 学習者の平均語彙数 1,910 語は非常に少ないことが分かった。また, 学習者が書き言葉の英文をそのまま適切に理解するには, Nation (2006) は小説であれば約 9,000 語, 新聞なら約 8,000 語必要であり, Laufer et al. (2010) は 4,000 – 5,000 語が既知語でなければならないと述べているが, いずれにしても, 日本語学習者の平均語彙サイズ 1,910 語では到底足りず, 語彙力の強化が急務であることが分かった。

本研究で考察した通り, 学習者は来日前の英語学習歴も違えば, 母語も異なり, 様々なバックグラウンドを持つ上, 英語力にも差異がある。しかし, 彼らは日本国内の高等教育機関進学という共通の目標を持ち, 進学後は日本人学生と同様に英語授業を受講するなど, 同等の英語力が求められることがある。いくつかの分野では頻繁に英語を読み, 書き, 使用する機会もあるだろう。それらの学習者のため, 本研究で開発した日本語学習者のための英語語彙サイズテ

ストと測定結果を持って、今後の指導と語彙教材の開発に活かしていきたい。

付記

本稿は第 21 回留学生教育学会（2016 年 8 月 27 日，大阪大学中之島センター）において「日本語中の日本語学習者の英語語彙サイズに関する考察：テストの開発と語彙サイズの測定」と題し行った発表内容に，加筆・修正をしたものである。

謝辞

本稿の執筆にあたり，終始ご指導と貴重なご助言を賜りました京都外国語大学の石川保茂先生に心よりお礼申し上げます。

<注>

- 1) 一般財団法人日本語教育振興協会（2017）『平成 28 年度日本語教育機関実態調査結果報告』 <http://www.nisshinkyo.org/article/pdf/overview05.pdf>（2017/10/15 閲覧）によると，回答を得られた 286 校の日本語教育機関うち 151 校で，進学を希望する学生に対し，進学のための予備教育科目が開設されている。科目は総合科目が最も多く，次いで数学，小論文，日本事情，英語の順で，それぞれ 117，111，84，75，71 の機関で開設されている（複数回答あり）。その他，物理，化学，生物，世界史を開設している機関もある。
- 2) “Vocabulary tests” としてオンライン上で公開されている。 <https://www.victoria.ac.nz/lals/about/staff/paul-nation>（2017/10/15 閲覧）
- 3) 「goo 辞書」 <https://dictionary.goo.ne.jp/> 「Weblio 英和辞典・和英辞典」 <https://ejje.weblio.jp/>（2017/10/15 閲覧）
- 4) クロンバックのアルファ係数は，エクセル統計（BellCurve for Excel）for Windows Ver.2.00 を使用し，算出した。

<参考文献>

- 国際交流基金編著 (2002) 『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』 凡人社.
- 新村出編 (2008) 『広辞苑』 第 6 版, 岩波書店.
- 園田勝英 (1996) 「大学生用英語語彙表のための基礎的研究」『言語文化部研究報告叢書』 7, 北海道大学.
- 辻本桜子 (2016) 「日本留学中の日本語学習者の英語語彙サイズに関する考察: テストの開発と語彙サイズの測定」『留学生教育学会第 21 回研究大会予稿集』 pp.2-31-2-32.
- 望月正道 (1998) 「日本人英語学習者のための語彙サイズテスト」『財団法人語学教育研究所紀要』 12, pp.27-53.
- 望月正道・相澤一美・投野由紀夫 (2003) 『英語語彙の指導マニュアル』 大修館書店.
- Hu, M. & Nation, I.S.P. (2000). "Unknown Vocabulary Density and Reading Comprehension." *Reading in a Foreign Language*, 13 (1), pp.403-430.
- Laufer, Batia. & Ravenhorst-Kalovski, Geke.C. (2010). "Lexical threshold revisited: Lexical text coverage, learners' vocabulary size and reading comprehension." *Reading in a Foreign Language*, 22 (1), pp.15-30.
- McLean, S., Hogg, N., & Kramer, B. (2014). "Estimations of Japanese University Learners' English Vocabulary Sizes Using the Vocabulary Size Test." *Vocabulary Learning and Instruction*, 3 (2), pp.47-55.
- McLean, S., Hogg, N., & Rush, T. (2014). "Vocabulary size of Japanese university students: Preliminary results from JALT sponsored research." *The Language Teacher*, 38 (3), pp.34-37.
- Nation, I.S.P. (2006). "How Large a Vocabulary Is Needed For Reading and Listening?" *The Canadian Modern Language Review*, 63 (1), pp.59-82.
- Nation, I.S.P. and Beglar, D. (2007). "A vocabulary size test." *The Language Teacher*, 31 (7), pp.9-13.
- Nation, I.S.P. (2010). Vocabulary Size Test (bilingual Japanese version). http://www.victoria.ac.nz/lals/about/staff/publications/paul-nation/Vocab_Size_Test_Japanese.pdf (2017/10/15 閲覧)
- Nation, I.S.P. (2012). The Vocabulary Size Test. <http://www.victoria.ac.nz/lals/about/staff/publications/paul-nation/Vocabulary-Size-Test-information-and-specifications.pdf> (2017/10/15 閲覧)

資料

日本語学習者のための英語語彙サイズテスト

問題 文中の太字・下線語の日本語訳として適切なものを、a - d から一つ選び、記号に○をつけてください。【*のついた日本語は、下に注があります。】

例 1. car : They used a car.

a. バス b. 鉛筆

c. 自転車 **d. 車**

1-1. see : They saw it.

a. 切った b. 待った

c. 見た d. 始めた

1-6. drive : He drives fast.

a. 泳ぐ b. 学ぶ

c. ボールを投げる

d. 車を運転する

1-2. time : They have a lot of time.

a. お金 b. 食べ物

c. 時間 d. 友だち

1-7. jump : She tried to jump.

a. 浮かぶ b. 跳ぶ

c. 駐車する d. 走る

1-3. period : It was a difficult period.

a. 質問 b. 期間

c. すべきこと d. 本

1-8. shoe : Where is your shoe ?

a. 親 b. 財布

c. ペン d. くつ

1-4. figure : Is this the right figure ?

a. 答え b. 場所

c. 時間 d. 数字

1-9. standard :

Her standards are very high.

a. かか^{*}と b. 成績

c. 費用 d. 基準

*体の一部。足の後ろの部分。指の反対にある。

1-5. poor : We are poor.

a. 貧しい b. 幸せに感じる

c. とても興味がある

d. 一生懸命には働きたくない

1-10. basis : This was used as the basis.

a. 解答 b. 休憩場所

c. 次の一歩 d. 主要な部分

2-1. maintain : Can they maintain it ?

- a. 維持する b. 拡大する
c. 改良する d. 入手する

2-2. stone : He sat on a stone.

- a. 石 b. 腰かけ
c. 敷物 (しきもの)
d. 枝

2-3. upset : I am upset.

- a. 疲れた b. 有名な
c. 金持ちの d. うろたえた*

*突然のことに驚いて、慌てる。

2-4. drawer : The drawer was empty.

- a. 引き出し b. 車庫
c. 冷蔵庫 d. おり*

*危ない動物や、警察に捕まえられた犯人が、逃げないように入れられる入れ物や小さい部屋

2-5. patience : He has no patience.

- a. 忍耐力がない b. 忙しい
c. 信念がない d. 不公平だ

2-6. nil :

His mark for that question was nil.

- a. とても悪い b. ゼロ
c. とても良い d. 中間の

2-7. pub : They went to the pub.

- a. 酒場 b. 銀行
c. 商店街 d. 水泳プール

2-8. circle : Make a circle.

- a. 下書き b. 空白
c. 円 d. 大きな穴

2-9. microphone :

Please use the microphone.

- a. 電子レンジ b. マイク
c. 顕微鏡 (けんびきょう)
d. 携帯電話

2-10. pro : He's a pro.

- a. スパイ b. ばか者
c. 記者 d. プロ

3-1. soldier : He is a soldier.

- a. 実業家 b. 学生
c. 金属細工人 d. 兵士

3-2. restore : It has been restored.

- a. 繰り返された b. 移転された
c. 値引きされた d. 復元された

3-3. jug : He was holding a jug.

- a. 水入れ b. おしゃべり
c. ベレー帽* d. 拳銃*

*c: 軟らかく、丸くて平らな帽子

*d: 小さいピストル (警察官が持っている武器)

3-4. scrub : He is scrubbing it.

- a. ひっかく^{*} b. 修理する
c. ごしごし磨く^{*} d. 下絵を描く

* a: 爪や先のとがったもので強く搔く。

* c: ごしごし: 強くこする様子 (汚れた物を洗う時, そうじの時に使われる言葉)

3-5. dinosaur : The children were pretending to be dinosaurs.

- a. 海賊 b. 妖精
c. 竜 d. 恐竜

3-6. strap : He broke the strap.

- a. 約束 b. ふた
c. 皿 d. ひも

3-7. pave : It was paved.

- a. ふさがれた^{*} b. 分割された
c. 金の縁取りがされた^{*}
d. 舗装 (ほそう) された^{*}

* a: ふさぐ: 穴や開いている所を何か物を使って見えないようにする。

* c: 金の縁取りをする: 物の周りを金色にする。

* d: 舗装する: 道路の表面をセメントなどできれいに固める。

3-8. dash : They dashed over it.

- a. 駆けた b. ぶらぶら歩いた^{*}
c. 戦った d. ちらりと見た^{*}

* b: ぶらぶら: 目的なく, のんびり歩く様子

* d: ちらりと: とても短い時間

3-9. rove : He couldn't stop roving.

- a. 酔うこと b. 放浪すること
c. 鼻歌を歌うこと
d. 一生懸命働くこと

3-10. lonesome : He felt lonesome.

- a. 不愉快な b. とても疲れた
d. 孤独な d. 活発な

4-1. compound :

They made a new compound.

- a. 契約 b. 複合物
c. 会社 d. 予想

4-2. latter : I agree with the latter.

- a. 牧師 b. 理由
c. 後者 d. 答え

4-3. candid : Please be candid.

- a. 注意深い b. 思いやりのある
c. 公平な d. 率直な

4-4. tummy : Look at my tummy.

- a. 襟 (えり) 巻き^{*} b. 腹
c. リス^{*} d. 親指

* a: マフラーのこと。寒くないように, またはおしゃれのために首に巻くもの。

* c: 木の上に住む小さい動物。前の歯が大きい。

4-5. quiz : We made a **quiz**.

- a. 矢筒^{*} b. 誤り
c. 小テスト d. 巣箱

* 矢^や (武器^{ぶき}の名前) を入れる, 丸くて細長い入れ物

4-6. input : We need more **input**.

- a. 情報 b. 労働者
c. 詰め物^{*} d. お金

* 虫歯などの穴に詰めてふさぐ物

4-7. crab : Do you like **crabs** ?

- a. カニ b. クラッカー^{*}
c. かたい襟^{*} (えり)
d. コオロギ^{*}

* b: パーティの時に, 大きい音を出すための物

* c: かたい: 「やわらかい」の反対
襟^{えり}: 服の首の回りの部分

* d: 秋によくいる黒い虫。きれいな声で鳴く。

4-8. vocabulary :

You will need more **vocabulary**.

- a. 単語 b. 技術
c. お金 d. 拳銃^{*}

* 小さいピストル (警察官が持っている武器^{ぶき})

4-9. remedy : We found a good **remedy**.

- a. 改善法 b. 飲食店
c. 調理法 d. 方程式

4-10. allege : They **alleged** it.

- a. それを主張した
b. それを盗作した
c. それを証明した
d. それに反論した

5-1. deficit :

The company had a large **deficit**.

- a. 多額の赤字を抱えた
b. 価値が大いに下がった
c. 多額の支出計画を立てた
d. 多額の銀行預金があった

5-2. weep : He **wept**.

- a. 卒業した b. 泣いた
c. 死んだ d. 心配した

5-3. nun : We saw a **nun**.

- a. ミミズ^{*} b. 大事故
c. 修道女 d. 空中の謎の光

* 土の中に住む細長い虫

5-4. haunt : The house is **haunted**.

- a. 装飾品にあふれた
b. 借りされた
c. 空き家の d. 幽霊の出没する

5-5. compost : We need some **compost**.

- a. 強力な援助 b. 精神的支え
c. コンクリート^{*} d. 堆肥 (たいひ)

* c: 砂, セメントなどと水を混ぜて固くした
もの。工事の時に使う。

* d: 植物がよく育つように田や畑に入れる物

5-6. cube : I need one more **cube**.

- a. ピン b. 立方体
c. マグカップ^{*} d. はがき

*持つところがある大きくて重いコップ

5-7. miniature : It is a **miniature**.

- a. ミニチュア^{*}
b. 顕微鏡 (けんびきょう)
c. 微生物 d. 字画

*何か大きい物を小さくした物

5-8. peel : Shall I **peel** it ?

- a. 水に浸す b. 皮をむく
c. 漂白する d. 薄く切る

5-9. fracture : They found a **fracture**.

- a. 破損 b. 小片
c. 上着 d. 珍しい宝石

5-10. bacterium :

They didn't find a single **bacterium**.

- a. 細菌
b. 赤や橙 (だいたい) 色の花を持つ植物
c. ラクダ^{*} d. 盗品

*砂漠 (暑くて雨が少ない所) に住む動物

A Study of English Vocabulary Size for Japanese Language Learners Studying in Preparatory Courses for Tertiary Education: Test Development and Measurement of the Vocabulary Size

Sakurako Tsujimoto *

Abstract

Educational institutions that teach the Japanese language now include many that teach English to foreign students who hope to advance to universities, graduate schools, and other institutes of higher education in Japan. This study developed the English Vocabulary Size Test (VST) for Japanese language learners, based on a preliminary survey using the VST (bilingual Japanese version) developed by Nation (2010), in order to clarify the English vocabulary level of Japanese language learners who are studying English and Japanese simultaneously. The developed test was administered to 287 Japanese language learners in an attempt to measure the size of English vocabulary of these learners. The results revealed that the average size of English vocabulary of all the Japanese English learners was 1,910 words. A separate examination of the results for learners inside and outside the kanji cultural sphere shows that the average vocabulary size of students inside the kanji cultural sphere is 2,370 words and that of others is 1,610 words, thereby demonstrating that learners inside the kanji cultural sphere know 760 more words than those outside the kanji cultural sphere.

I hope that the results of this study will be applied to developing English guidance procedures and vocabulary building materials for Japanese language learners who take college preparatory courses in the future.

Keywords:

English Vocabulary Size Test Measurement of English Vocabulary Size
Japanese Language Learners Learners inside the Kanji Cultural Sphere
Learners outside the Kanji Cultural Sphere

* Part-time Lecturer, Center for Japanese Language Education, Ritsumeikan University